

令和3年度 第1回匝瑳市社会教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和3年10月28日(木)
開会 午後2時00分 閉会 午後3時00分
- 2 場 所 野栄福祉センター 2階娯楽室
- 3 出席委員 押尾悦子委員、加藤雅博委員、依知川雅一委員、石和田秀雄委員、
石川浩之委員、木村順子委員、海宝由利子委員、伊藤敏江委員
- 4 出席職員
(事務局) 教育長 二村好美
生涯学習課 林 鉄也
公民館長・図書館長 川口義夫
生涯学習班室長 戸村克哉
スポーツ振興班主査(統括) 佐藤幸司
- 5 開 会
- 6 社会教育委員会会議議長あいさつ
- 7 教育長あいさつ
- 8 報 告
(1) 令和3年成人式代替式典の開催について
林課長より報告。
- 9 議 事
(1) 令和3年度匝瑳市生涯学習事業(9月末現在)の実施状況について
生涯学習関連事業 戸村室長、佐藤主査(統括)より説明。
公民館関連事業 川口館長より説明。
図書館関連事業 川口館長より説明。
- 10 その他
- 11 閉 会 詳細は別添会議資料による。

【協議内容】

報告（１）令和３年成人式代替式典の開催について
事務局から説明のもと、質問はなかった

議事（１）令和３年度匝瑳市生涯学習事業（９月末現在）の実施状況について

委員Ａ： １ページです。東総社会教育委員連絡協議会ですが、令和２年度から令和３年度の２年間、匝瑳市が事務局となっているが、いろいろな行事が中止となっている。来年度は事務局を次の市へ引き継げるのか。

事務局： 来年度からの当番市は旭市の予定になっている。今現在の予定では、引き継げるものとする。

委員Ｂ： 立正大学との包括連携協定だが、具体的にはどのような形での協力、あるいは取り組みを一緒に進めていくのか。

事務局： 連携協定事項には、１１の項目が挙げられている。具体的な取り組みについては、これから協議していく。

委員Ｃ： 現在、コロナウィルスの影響で、事業が中止になっている。今後、コロナウィルス感染状況がどの程度になったら事業を再開できるのか。

事務局： 現在、感染者数はかなり減少しているが、ワクチン接種をしても感染はするので、施設利用者の人数制限をしている状況である。

また、主催者団体の考えもあるが、文化系の人の接触が非常に少ない活動に対しては、大きな制限はなく主催者側の判断で活動できる状態である。しかし運動系の活動については、人やボール等の接触により感染する場合があります、より慎重になっている。特に学校生徒を対象にした事業については、家庭や学校にまで感染の影響する場合がありますので、より慎重な判断を要している。

委員Ｃ： 文化財保護事業に補助金がでていますが、補助金額に「今年度はなし」の記載があるが、補助金が出なかったのか、あるいは事業を実施しなかったのか。

事務局： 事業の実施を中止したので、補助金を辞退した記載になる。

委員Ｄ： 多くの事業が中止になっている。シニアクラブに市の監査が入り、繰越金について指摘があった。補助金に対して繰越金が発生した場合、どのように考えるのか。

事務局： 一般的には、支給を受けている補助金に対しては、担当事務局と相談してほしい。中止になった事業については、中止になるまでの経費を差し引き、残額を返還する場合もある。